

「私たちの明日とミッション」

～3.11 から歩み出すために～

3月11日の東日本大震災以降、依然として先行きの見えない状況が続いています。しかし、このような時であるからこそ、私たちは、明日に向けて共に歩み出すために、真の勇気と知恵を尋ね求めるべきではないでしょうか。

このことに関連して、私たちには上よりの「ミッション」(mission)が与えられているとキリスト教ではとらえます。この言葉は、「送り出す」という意味のラテン語に由来するもので、一般的には「使命」や「任務」を意味します。私たちはそれぞれ、自分にしかない使命と賜物を与えられて、この時代のこの場所に、唯一(only one)の存在として送り出されています。その使命とは、究極的には、自分のためにではなく、神さまそして隣人(others)のために生きるということであり、聖学院ではそのことを、“Only One for Others”という合言葉として胸に刻んでいます。

この春のキリスト教週間において、未だ苦難の中にある人々のために、またこの地球環境のために私たちは何ができるのかを考えつつ、明日へと歩み出すにあたって、それぞれに与えられた人生のミッションとは何かを深く問うていきたいと思えます。

人文学部副チャプレン 柳田 洋夫

お知らせ

春のキリスト教週間では、講演会やコンサートの他に、下記プログラムを用意しております。皆様のご参加をお待ちしております。

キリスト教と諸学の会

日時／5月25日(水) 17時30分～18時50分
場所／教授会室
発表／寺崎 恵子 先生(児童学科助教)
「学校の閑暇
-ルソーにならい 身の感覚をたよりにして-」

全学礼拝

10時20分～10時50分 場所／チャペル

- 5月17日(火)
柳田 洋夫 先生(人文学部副チャプレン)
讃美奉献／聖歌隊
- 5月19日(木)
佐野 正子 先生(政治経済学部チャプレン)
讃美奉献／ハンドベル・クワイア
- 5月20日(金) 学生の証
吉川 達也 兄(108P)
更科 陽香 姉(108J)
- 5月24日(火)
久保島 理恵 先生(伊豆八幡野教会牧師)
讃美奉献／フィルハーモニー管弦楽団

キリスト教講演会・ゴスペルコンサート出席に関する注意事項

- 学生証を持参して下さい。ICカード学生証にて出席を確認します。
- 学年ごとに指定されているプログラムに出席して下さい。
- 講演会・音楽会にふさわしい服装(男性はネクタイ着用)でいらして下さい。
- それぞれのプログラムの開始10分前に受付終了となります。それ以降はチャペルに入場することができませんので注意して下さい。

聖学院キリスト教センター

<http://www.seigakuin-univ.ac.jp/shukyo/frame.htm>

2011

5.18-5.25

春のキリスト教週間
ご案内

Seigakuin University



「私たちの明日とミッション ～3.11 から歩み出すために～」



キリスト教講演会

2011年5月18日(水)

時間/10時40分～12時30分

(開場10時10分/受付締切10時30分)

場所/聖学院大学チャペル

対象/2年生以上

講演/桃井 和馬 氏 (フォトジャーナリスト)

「神にゆだねる ～地球規模の破壊を前に～」



プロフィール

1962年生まれ。写真家、フォトジャーナリスト。
これまで世界140カ国取材し、「紛争」「地球環境」などを
基軸にしたプロジェクトを通し独自の切り口で「文明論」を展開
している。講演・講座の他、テレビ・ラジオ出演多数。第32回
太陽賞受賞。近著に『すべての生命(いのち)にであえてよか
った』(日本キリスト教団出版局)、『妻と最期の十日間』集英
社新書。2011年度より恵泉女学園大学客員教授。

公式サイト <http://www.momoikaz.sakura.ne.jp/index.html>

ゴスペルコンサート

2011年5月25日(水)

時間/10時40分～12時15分

(開場10時10分/受付締切10時30分)

場所/聖学院大学チャペル

対象/1年生

讚美/森 祐理 氏 (クリスチャンアーティスト)

「明日はどんな日か」



プロフィール

京都市立芸術大学音楽学部声楽専修卒業。
NHK京都放送局TV「くらしのチャンネル」レポーター、ラジオ
等を経て、NHK教育テレビ「ゆかいなコンサート」歌のお姉さん
を務める。現在は、福音歌手として国内海外を駆け回ってコン
サートを行い、その美しい歌声で、世代を越え幅広い方々に希
望のメッセージを届けている。

公式サイト <http://www.moriyuri.com>

